

153研削盤、バフ盤を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	17~18	鉄工所において、鉄パイプの内側をサンダー掛けする際、持ち手を変えるときに内側の壁に当たり、はね返ったときに右手親指を負傷した。	64	8	30201	1~9
2	2017	12	13~14	工場構内の過酸化水素エリアにおいて、グラインダーで既設配管の切断作業中に、自分の体側より奥に向かって切断を行っていたが、刃が届かず、体勢を変えて切断部が見える位置までしゃがみ切断を始めたところ、刃が食い込んで割れ、その際の衝撃でグラインダーを持っていた手が負け、顔面に直撃した。残水が出ている状態で切断していたため、切断部が見えにくく、切断刃が直径13cmで両サイド近くにサポートがあり固定されていたが、配管径は40Aと小さく、直線部も2m程度でサニタリーの薄い配管であったためすぐに切れると思った。また、保護メガネをしていたので、切粉が目に入らないと思い油断し、顔を近づけすぎた。	29	3	30309	1~9
3	2017	12	9~10	工場で、当社従業員の派遣社員が研磨した自動車部品（大きさ15cm程の円盤の真中に円筒状の突起がある）を当該機械から抜こうと力を入れたとき、横で稼働していた機械の研磨するタッパ（約60cm離れている）に右手人差指と中指の間が当たり負傷した。	46	8	170101	300 ~ 499
4	2017	12	11~12	作業現場でグラインダーを使って製品を研削していたとき、背後にある製品が入った箱から左手で製品を取り出し、グラインダーの右側にある作業台に製品を載せた際、左手中指が	60	8	170101	100 ~

				グラインダーに接触し、左手中指を切創した。				299
5	2017	11	14～ 15	道路配管工事中、地中で配管を接続させるためグラインダーで管を切断していた時、グラインダーの刃が管にはじかれて、左手の掌を切り、裂傷を負ったものである。	31	8	30110	1～9
6	2017	11	11～ 12	鑄仕上作業場で、#524フランジを研磨中、受け台の溶接していた部分に何らかの力が加わり、受台が外れて前に倒れた時、外れた受台が砥石とかなで割れた。その際、割れた砥石の破片が右手親指、人差し指、中指及び右側骨盤に当たり負傷した。	62	4	11502	30～ 49
7	2017	11	13～ 14	仕上げ職場で、プロペラボス側面から翼にかけて、手持ちグラインダーで研磨をしている時、中腰の状態では右手はグラインダーのセンターハンドル、左手は本体下側を持って、横がけで作業をしていた時、グラインダーが研磨面に出来た段差に引っ掛かり、その拍子に体のバランスを崩し、咄嗟に左手がグラインダーから外れ左手首にグラインダーのディスクが接触し裂傷した。	38	8	11109	10～ 29
8	2017	11	14～ 15	No.1大型研磨機にて、フロート煉瓦（903×662×305mm）の側面研磨を行っていた。スライドヘッド上の煉瓦の側面加工送り前進後、後退する際にスライドヘッドと煉瓦下の間にあったナイロンスリングロープ（1t用30mm×3m）の端が煉瓦側面より外に飛び出ていた為、引き抜こうと手を出したところ、ナイロンスリングロープが砥石回転体の中に巻き込まれ、手が持っていかれそうになった為、慌てて手を離したが、研磨機の砥石に手を叩かれ左手の中指を複雑骨折した。	31	7	10904	100 ～ 299
9	2017	11	17～ 18	工場の作業場でサンダーでバリ取りをしている時に、右手の人差し指を切創した。	47	8	11204	30～ 49
				2Fベランダの防水加工工事中、左足を前に右足の片膝をつい				

10	2017	11	11~ 12	た体勢でサンダーを使い床を研磨していた為、エアコンの架台にあたって跳ね返った刃が左足首と膝の間にあたり裂傷した。	34	8	30201	1~9
11	2017	11	11~ 12	屋根工事での撤去屋根廃材を作業所において、ベビーサンダーを使用して切断していた時、左中指外側に触れて裂傷した。	79	8	30209	—
12	2017	11	16~ 17	倉庫内にてフォークリフト作業中、フォークリフトから降車する際、右足を捻り転倒し、右膝を脱臼し骨折した。	25	8	30203	10~ 29
13	2017	11	11~ 12	当社第2工場内で、研磨機を使用し、棒状のステンレス製品（長さ600mm、重さ600g）の仕上げ作業をしている時、磨いていた製品を作業しやすいように持ちかえようとしたところ、左手に着けていた手袋が機械に絡まり、右手小指の第二関節から上を切断した。	30	7	11301	10~ 29
14	2017	10	8~9	側溝の上にボイドを横に倒して置き1本切断しやすい様に少し出して高さ85cmの所でディスクグラインダーにて切断する時に左手でボイドを押えて片手（右手）でディスクグラインダーで切断した時に歯が左手の方へはねて左手指を負傷した。ボイドを切断する時の高さは腰高で無理な姿勢ではなかったがディスクグラインダーに保護カバーを取り付けていなかったために怪我の度合いが悪くなった。	63	8	30199	1~9
15	2017	10	16~ 17	倉庫内において、片付けをしていた。工具のサンダーを使用していたところ、スイッチを入れて作動してなかったので確認をしたら電源が入っていなかった。慌てて電源に接続したら、サンダーのスイッチを入れたままになっていて、右手薬指を工具で切ってしまった。	56	8	30203	10~ 29
16	2017	10	11~ 12	外壁改修工事作業に於いて、足場上で中腰の姿勢で電動グラインダーを使用した作業中に体の体勢を変えようとした際に腰を捻って痛みが走り負傷した。	41	19	30309	1~9

17	2017	10	16～ 17	派遣先で、エアブロー作業場を交代しようとした際に後方を確認せずに後ずさりし、回転している研磨機に腰が当たり腰部を火傷した。背部挫滅創とのことだった。	29	8	170101	1～9
18	2017	10	8～9	本社工場2F、研削盤の加工作業場でワークの脱着作業をしている際、ワークのはめ込みが不十分だったため、電源を切らずに取り外そうとした際、右手甲が砥石に接触し切り傷を負った。	25	8	10909	—
19	2017	10	16～ 17	作業所内において商店店舗手洗器及び屋根消雪工事に使用するパイプを、ディスクグラインダーを使い加工していた際に、左手で材料を押さえて切断していたところ、グラインダーが滑り、左手手袋が巻き込まれ、左手親指付け根に受傷。	70	7	30203	1～9
20	2017	10	9～ 10	現場で出た廃材や残材を管理する置き場で、廃材を細かく切断する作業中に、誤って左手の指に電動工具が当たってしまい、骨折した。	26	8	30202	1～9
21	2017	10	11～ 12	多目的集合新築工事のため、基礎工事をしていた。手持ちサンダーで鉄筋を切断したとき、手が滑りサンダーを落としてしまった。サンダーは回転したまま本人の左足親指のところに落ち、負傷した。	64	4	30202	10～ 29
22	2017	10	8～9	当日工場内に於いて、板材（長さ10cm、巾4cm）をグラインダーで研磨作業中、板材を支えていた右手を、板材とグラインダーの台の間に挟まれ、その際、右手第2指先端を負傷。	57	7	11301	10～ 29
23	2017	9	12～ 13	第5生産課CRB1区工程外径センタレス（粗加工）機にて、設備段取後、ワークを流動させた、ワークが残り少なくなってきた為、最終ワークの最後に外径ダミーをセットした。砥石の手前まで左手でダミーを押していた時、考え事をしていた為、左手が砥石入口部分までダミーを押してしまい、ブレードと砥石に左手中指が巻き込まれ受傷した。	34	7	11301	1000 ～ 9999

24	2017	9	8~9	工場の二階工作室の前にある研磨機で、朝にH-92切断型上刃の表を研磨して裏を研磨するため研磨台から外そうとした時に、手袋が研磨石にひっかかり右手中指の先を切った。研磨石の回転が止まる前に作業をしたためである。	65	7	11203	10~ 29
25	2017	9	14~ 15	研磨機で作業中、砥石のドレッシングのために、ドレッサーのバーを研磨機の小窓から差し込んだ際、ドレッサー先端の刃が回転している上下の砥石に噛み込み、バーが研磨機の中に引きこまれた。その時にバーを握っていた左手が、バーのストッパーと小窓に挟まれて左手薬指と小指を切断した。同時に、バーのグリップ部で、右脇腹を強打し、肝臓を損傷した。	20	7	11209	300 ~ 499
26	2017	9	4~5	第二工場鑄造ライン（4VI）にて、被害者に両頭グラインダーを使用、自動車部品?チューブディファレンシャルの張取り加工を行う為?を両手で保持、まず砥石とその?との張取り位置姿合わせをワークレストから浮かした状態で行っていたが、この作業中、誤って?が砥石に接触した時砥石が回転中であった為その回転力で?は下方向に振じられながらワークレストに強く突きあたった際?を保持していた両手中、左母指末節部に間に挟み負傷したものである。	57	3	11502	10~ 29
27	2017	9	3~4	当社1階にて翌日の作業の為に段取り中、グラインダーを点検のために両腕で抱えた際、身体に電気が走るショックを感じ具合が悪くなった。	26	13	11209	10~ 29
28	2017	9	18~ 19	第二工場研磨課ラインに於いて、センターレスの段取り作業中、砥石が止まっていると勘違いし、左手を出してしまい、左手第二指先端部を削ったものである。	53	8	11502	100 ~ 299
29	2017	9	15~	当社道具庫にて、ストレートグラインダー（ベビーサンダー）で攪拌機に付着したペンキの除去作業をしているとき	25	4	11501	50~

			16	に、装着していた保護具（シールド付ヘルメット）の隙間から飛散したワイヤーが右目に刺さり受傷した。				99
30	2017	8	9～ 10	2階バルコニーで手摺の解体作業中、ステンレス製の支柱をサンダー工具でカットするときに、誤って左手首をサンダー工具で損傷した。	36	8	80109	1～9
31	2017	8	11～ 12	パズルパークの柱脚部のベースプレート固定用のアンカーボルトの余長部を、ベビーサンダーにて切断中、ベビーサンダーが弾き、作業服のズボンを巻き込み、左足ふくらはぎ外側を約10cm損傷した。	32	8	30201	10～ 29
32	2017	8	9～ 10	当苑中庭で、丸鋸を付けたグラインダーを左手に、右手に木の枝を持ち、植木を切る作業中に、グラインダーの振動で刃が右手親指に当たり負傷した。	68	8	130201	100 ～ 299
33	2017	8	16～ 17	当社営業所にて鉄加工作業中、グラインダーで鉄を切断する際、刃先が鉄に接触したときの勢いで刃物が潰れ、グラインダー本体に誤って左手小指下を強打し負傷した。	61	3	170209	1～9
34	2017	8	16～ 17	工場内にて、ペンキの一斗缶の空容器を解体しているときに、ペンキが残っており、ガスが溜まっていたため、グラインダーでカットしようとした際に出た火花に引火し、炎が出て、衣服に覆われていなかった左手首に火傷を負った。	47	11	11204	10～ 29
35	2017	8	16～ 17	工場内にて、ペンキの一斗缶の空容器を解体しているときに、ペンキが残っており、ガスが溜まっていたため、グラインダーでカットしようとした際に出た火花に引火し、炎が出て、衣服に覆われていなかった左手首に火傷を負った。	47	11	11204	10～ 29
36	2017	8	10～ 11	派遣先の屋外テント屋根内で、アルミタンクブロックの大組立作業中、サイドカッターで溶接補修箇所の研削を行い、研削状態を確認する際、サイドカッターの回転を止めることなく、両手で持っていたサイドカッターから左手を離した。そのとき、右手はボディ、左手はグリップを握っていた。研削	48	8	11501	300 ～

				作業を再開するため、グリップを握ろうと左手を移動させたとき、サイドカッターの刃と左手親指付け根部が接触し受傷した。				499
37	2017	8	11~ 12	当社工場内にて、両膝を地面に着けた状態で、角パイプ（縦横×長さ、75mm角×1800mm）を左手で押さえながら、右手でグラインダーを持って加工している時に手元が狂い、グラインダーの刃が滑ってしまい、左膝に当たり負傷したものである。	32	8	11209	10~ 29
38	2017	8	8~9	工場内の作業スペースで、プラスチックの20Lドラムを固定し切断加工中、ディスクグラインダーの刃が誤って左手に触れ負傷した。	32	8	70101	1~9
39	2017	8	10~ 11	改修工事現場で、鉄製のくずかごをサンダーで切断中に、誤って手を滑らせてサンダーの刃で左手の示指を傷つけた。	54	8	30209	1~9
40	2017	8	14~ 15	会社工場内において、トラックの荷台下にもぐってサンダーをかけていたところ、反動で跳ね返ってきた刃が右の頬の辺りに接触し、切れて負傷した。	26	8	11502	10~ 29
41	2017	8	9~ 10	主催によるレールボンド溶着作業技能講習会において、レール研磨中にレール研磨盤砥石が突然割れその破片が側にいた受講生の本人の右額部に当たり負傷した。頭部外傷右前額部割創と診断され、全治10日、処置後帰宅した。	33	4	30301	30~ 49
42	2017	7	15~16	事業所内において、農機具を修理するためグラインダーで削っていたところ、跳ね返って、機械が左ひざに当たり負傷した。	28	8	80209	1~9
43	2017	7	14~15	サンダーで部品を削っていたらサンダーが割れて、そのはずみで手が滑り左手首を切った。	34	8	11301	10~ 29
44	2017	7	9~10	整備専用架台上でパーツのケレン作業中、（パーツ：直径20cm厚さ1cm、鉄製）グラインダーブラシ部分が右手薬指と	35	7	170209	10~

				小指に巻き付いて負傷した。				29
45	2017	7	0~1	当社の工場にて、材料の研磨作業中に右手で持った研磨機の材料に対する角度が悪く研磨機の刃先が跳ねて材料を保持していた左手拇指根元を切傷した。	28	8	11209	30~ 49
46	2017	7	9~10	工場内において、治具部品の取替を、治具と治具の間（約60cm）に作業員二人で背中合わせで作業をしていた。一人が、グラインダー作業を終え駆動を止めて振り返った際、グラインダーの刃が完全に停止しておらず、もう一人の背中に刃が当たり負傷した。作業ルールでは、背中合わせでの作業を禁止していた。次の作業へ急いで移動しようとし、グラインダーの駆動の停止確認を怠った。	18	8	11709	—
47	2017	7	7~8	作業場に於いて、グラインダーにてアルミ製品のバリを取り除こうとして、右手でグラインダーを持ち、グラインダーのスイッチを入れた際、グラインダーが跳ね、左手首に当たり左手首を負傷した。	22	19	11102	10~ 29
48	2017	7	11~12	掃除用の棒で機械を掃除中、グラインダーに手を巻き込まれ左手の小指を挟まれた。診断では捻挫と関節脱臼。	47	7	10805	50~ 99
49	2017	7	13~14	当社工場内でアングル鋼（L5：40×40長さ800mm）の研磨作業の際に、左手で鋼材を押さえ右手でサンダー掛けをしていた時に滑って左手を巻き込み負傷したものの。	25	8	11209	10~ 29
50	2017	7	11~12	ダイカスト加工工場にてアルミ製品の切削加工中、工程が終了していると勘違いして製品交換のため、回転中の中に手を入れてしまい、右中指を切ってしまった。思い込みで作業をしてしまったことが原因。	19	8	170101	50~ 99
51	2017	7	11~12	ダイカスト加工工場にてアルミ製品の切削加工中、工程が終了していると勘違いして製品交換のため、回転中の中に手を入れてしまい、右中指を切ってしまった。思い込みで作業を	19	8	11102	50~ 99

				してしまったことが原因。				
52	2017	7	10~11	当社工場内で、直径8cm高さ5cm位の鉄製品を電動グラインダーでキズ取り作業中、製品を持っていた方の軍手が巻き込まれ、左手環指を負傷したものである。通院治療中日帰り手術をしたが、経過が思わしくなく再手術をした。再手術のため、連続休業となった。	52	7	11209	1~9
53	2017	7	13~14	飛天馬上にて、電動サンダーで鉄管を切っている時に、鉄管にはじき返された電動サンダーが顔面を直撃した。手が当たったが顔面を切りつけてしまったと思い、咄嗟に電動サンダーから手を離してしまい左大腿部に落下し、高速で回転するディスク部分により裂挫創となったもの。	55	4	30203	30~49
54	2017	7	14~15	エクステリア工事において、駐車場の床に石を貼る作業中、ディスクグラインダーを両手で持ち石を切っている時、硬度の強いところで刃が跳ね返された際、右手に刃が当たり負傷した。	48	8	30202	1~9
55	2017	7	14~15	荷物積み込み作業中に、大型トラックから一斗缶32個（1パレット）の荷物を後ろ向きで引っ張ろうとしたときに、右足首を痛めてしまった。その場から一步も動けなくなり、すぐに救急車を呼んだ。	45	8	30106	1~9
56	2017	7	11~12	アパートの横の階段で裏側のサビ取りで、デスクサンダーを掛けていたら鉄サビが弾けて目に入った。保護メガネはしていた。	45	4	30201	10~29
57	2017	7	14~15	リサイクルセンター内で、産業廃棄物の分別作業中、硬質ポリエチレンを切断するため、ディスクグラインダーを使用していたところ、材料を抑えていた左手が滑り、グラインダーの回転刃が左手人差し指と中指の第一関節付近に接触し裂傷を負った。滑り難いゴム製手袋を装着していたが、一瞬の油断が事故を招いた。	24	8	150103	10~29

58	2017	6	15～ 16	組合内の空調機撤去工事現場において、配管材の切断作業中、電動工具（グラインダー）にて配管材の切断をしていたところ、グラインダーの刃に配管材が挟まり、回転が一時停止した。その後、それを取り除こうとした際、電源を切っていなかったため再度刃が動き出し、右手に当たり、人差し指を負傷した。	29	8	30203	1～9
59	2017	6	14～ 15	屋上の手摺り工事中、手摺りの鉄パイプを切断していたところ、切断グラインダーの刃が折れ、衝撃でグラインダーの刃が腕に当たり、左手の肘下8cm程下、18cm程縦に裂傷した。	58	4	30209	1～9
60	2017	6	14～ 15	作業場にて、機械加工（センターレス研磨）作業をしている時に、加工物を取り出す際に、左手小指から薬指が接触した。負傷後、仕事を中止した。	62	7	11209	30～ 49
61	2017	6	19～ 20	当社溶接作業場にて、一辺15cm程度の箱状の板金物の溶接跡をグラインダー（ハンディタイプ）で研磨していた。左手に鋏金、右手にグラインダーを持ち、50個中残り2、3個まで作業を進めた時、次作業のことを思考するようになって注意が散漫になった瞬間、右手グラインダーを左手方向に押し込んでしまった。	28	8	11209	10～ 29
62	2017	6	13～ 14	当社工場内において、サンダーを使って品物を削る作業をしていたところ、サンダーが品物に強く当たった際、反動で跳ね上がり、右手に当たって切れた。	31	8	11209	10～ 29
63	2017	6	14～ 15	本社仕上工場内で、仏具をバフマシンで研磨作業中、砂バフの交換時に、電源スイッチを切らずに回転させたまま取り外しを行った為、左手軍手がシャフトとボルトに絡まり、左手首が巻き込まれた。	22	7	11109	30～ 49
64	2017	6	9～ 10	会社の作業場にて片付け作業中、ディスクグラインダーにてスレートを切断中、機械が跳ね返り、左腕の服を巻き込んだと同時に左腕を創傷した。	61	8	30209	1～9

65	2017	6	17~ 18	グラインダーを右手で持ち、左手でスイッチを切ろうとしたが切れておらず、切れたつもりで置いたところ、右手甲にグラインダーの刃が当たってしまい切れてしまった。	39	8	11209	1~9
66	2017	6	13~ 14	社内加工場にて機械作業中、加工後に発生する切粉が工具からまみり、除去する際に左手人差し指に接触し、同箇所を4針縫う怪我をした。	21	7	11509	30~ 49
67	2017	5	9~ 10	当社工場において鋼材を研磨中に、右手に持ったディスクグラインダーで、誤って鋼材を押さえていた左手の親指を砥石がはねて当たり、腱を切った。	57	4	10805	10~ 29
68	2017	5	13~ 14	卓上グラインダーを使用してポジショナーに取り付けるL字型ワーク（長さ6.3cm、幅3.5cm、ステンレス製）のバリ取り作業中、バリを取る部分を変えるのに、角度を変えた時にワークがグラインダーに吸い込まれ、ワークを掴んでいた右手人差し指、中指、薬指を骨折した。	31	7	11301	10~ 29
69	2017	5	14~ 15	倉庫内でブロックをベビーサンダーにて作業中、サンダーの刃が外れ跳ね返って左足を切ってしまった。	63	8	170209	10~ 29
70	2017	5	8~9	工場エンジン casting 部に所属する受傷者は、シリンダーヘッド仕上げ工程にて、夜勤作業終了後、残業で仕上設備の機内不要鉄板及び鉄骨パイプ除去を実施した。鉄板及び鉄骨の一部を電気サンダーにて切断除去後、機内に残存した右側上部鉄骨を除去する為、粗材クランプ治具上でそんきょ姿勢をとり、電気サンダーで切断を始めたとき、砥石が食いついた反動で電気サンダーが跳ね返り、砥石が右足大腿部に接触し受傷した（8針縫合）。	33	8	11502	1000 ~ 9999
71	2017	5	11~ 12	敷地内で、H型鋼にサンダー掛け作業をしていた時、横にあった部材が作業に支障をきたしたので、右手にサンダーを持ったまま（機械を停止しないまま）、左手で部材を下方向	61	8	11209	1~9

				に移動させようとした際、サンダーの刃がH鋼に触れ、その反動でサンダーの刃が左大腿部に当たった。				
72	2017	5	13～ 14	事業所内で品物の研磨作業中、ベルトグラインダーで指を切傷し、骨折した。	59	8	11002	1～9
73	2017	5	15～ 16	戸建住宅新築工事現場において、グラインダーを用いて瓦を切断・加工する作業中に、グラインダーの刃が左手に着用していた軍手に接触し、軍手ごと左手をグラインダーに巻き込んでしまい、左手親指の付け根が刃に当たった。	46	7	30202	1～9
74	2017	4	9～ 10	ボイラーの取替工事現場で、古い配管（鉄管）をハンドグラインダーで切断していたところ、グラインダーの刃（直径10cm）がはねて左腕と左足太もも部分に当たり胴部を負傷した。	57	8	30302	1～9
75	2017	4	17～ 18	養殖池フェンス改修工事中にディスクグラインダーで鋼材（厚6mm×1cm×1cm）を切断中、グラインダーが手から滑って弾いてしまい左大腿部を挫創した。	36	8	11209	1～9
76	2017	4	11～ 12	工場内において高さ50cmの定盤の上で長さ70cmの製品をサンダーで研削していたとき、体勢を崩し体勢を立て直そうと左手をサンダーから放してバランスをとろうとした。その際、サンダーが加工物に触れて左手の方向にサンダーが動き、サンダーが左手に当たった。	21	8	11209	10～ 29
77	2017	4	9～ 10	グラインダーで鋼管外面の研磨を行っていた際、一時休憩のためグラインダーを停止させ鋼管上部（曲面）に置いた直後、グラインダーが滑り落ちそうになった。落下を防ぐ為、咄嗟に受け止めようと左手で砥石部分、右手でハンドル（スイッチ部）を握ったところグラインダーが起動し砥石が回転し、左手中指第一関節に切創を負い腱が断裂した。	18	4	11209	30～ 49
				カーエアコン部品の切削加工作業終了後、装置内の掃除をする為にエアガン（エアガン）のノズルを交換した際に、清掃用ノズルを				

78	2017	4	18~ 19	クーラントタンクへ落とした。クーラントタンクよりベルトコンベアでチップコンベアの点検口にノズルが流れていった。チップコンベアの点検口からノズルのホースが見えたので、拾おうと右手を入れチェーンに巻き込まれた。停止ボタンを押しチェーンを停止させ、右手を引き抜こうとしたがチェーンに巻き込まれていた。	56	7	11502	50~ 99
79	2017	4	10~ 11	古紙の回収日であったため、計量を行い事務所を出る際、傘立てに右足を引っかけてしまい、その反動で3メートルくらい飛び転倒した。	19	8	11301	1~9
80	2017	4	9~ 10	当社工場に於いて、銅板（幅3cm・長さ20cm・厚さ3mm）に付いているネジを削り取るために、銅板をプライヤーではさんでサンダーで削っていた際、誤って右手親指がサンダーに触れてしまい、親指外側を負傷した。	70	8	150103	30~ 49
81	2017	4	13~ 14	浄化センター耐震補強工事中、脚立に上がって（高さ600）天井下地の計量鉄骨撤去作業をしている時、切断用のベビーサンダーが反動で跳ね返って頸に当たり、前頸部を負傷した。	38	8	30201	1~9
82	2017	3	10~11	外構の工事をしていて、既存のパイプをサンダーで切断している時に、コンクリートに当たってサンダーが跳ね返って左手の甲を負傷した。	69	8	30199	30~ 49
83	2017	3	11~12	当社作業場にて、資料の整備で型枠パネル（木製）に付着しているコンクリート塊をグラインダーで削り落としていた際、弾かれてパネルを押さえていた左手首にグラインダーの刃が当たり切創を負う。	25	8	30209	1~9
84	2017	3	16~17	当社事業所内にて、取扱商品である工場用ゴムベルトをサンダー掛けの際、誤って左膝にサンダーが当たり切傷した。	45	8	80209	10~ 29
				平面研磨機を操作中にテーブルの上が油で汚いためウエスで拭こうとしたため砥石に巻き込まれ、指の先端を砥石に削ら				

85	2017	3	14~15	れ切断してしまいました。通常はワークを置くテーブルの掃除はダスター刷毛で掃除するため、ウエスは使わない。どうしてもウエスで掃除したい場合は必ず砥石を止めた状態で掃除するが、今回は本人が砥石を止めていたと思い込んでいたため、手をテーブルに入れてしまった模様である。	44	8	11209	10~ 29
86	2017	3	16~17	工場内において、鉄板の面取り作業中、右手にサンダーを持って左手で鉄板を押さえていた。鉄板の角部分でサンダーが滑り、誤って左手親指付根部分にサンダーの回転部分が当たり被災した（軍手着用）。	64	8	11501	1~9
87	2017	3	16~17	自社作業場にて溶接作業中、サンダーがけをしていて鉄粉が目に入ってしまった（ゴーグル装着）。	48	12	11209	1~9
88	2017	3	10~11	電動工具で鉄筋を30cmに切断中、鉄筋切断後の切削屑を研磨する時に誤って回転中の砥石に接触し、右手二ヶ所を負傷した。	79	8	30111	1~9
89	2017	3	16~17	ベビーサンダーを使い階段の溝の高さを下げる作業をしていた際、刃が跳ね返ってしまい左手首を切った。	46	8	30201	1~9
90	2017	2	9~10	直径50cmのフランジの左側を左手で支えた状態で右手に持ったディスクグラインダーでフランジ下部の板付け部を削っていたところ、はずみでグラインダーが左側に跳ねた時に左手親指に当たり受傷（裂傷）した。	43	8	11209	1~9
91	2017	2	10~11	溜桝設置個所で排水用塩ビパイプ布設時に溜桝の内ツラに合わせて、塩ビパイプをベビーサンダーで切断している時に、パイプを固定せずに作業した為、振動でパイプが跳ね上がり、その反動で右手がブレて誤って左手の甲、親指付近にベビーサンダーが接触して怪我をした。	54	8	30109	1~9
92	2017	2	9~10	溶接をするため材料に開先を取るためにサンダーをかけていた時に材料を持っていた方が誤ってサンダーに接触してしまった。	43	8	11209	10~ 29

93	2017	2	9~10	自社シャッター修繕工事中にサンダーで左手薬指を切創した。	63	8	30203	—
94	2017	2	16~17	ペーパーサンダー作業中、立ち上がった際に接触し右膝を負傷した。	42	8	11503	30~ 49
95	2017	2	9~10	当社溶接作業場にてグラインダーを片付ける時に誤ってスイッチが入ってしまい、左手甲の親指付け根をグラインダーで傷つけてしまった。	34	8	30309	—
96	2017	2	16~17	当社工場内で、金具のバフ研磨作業中、レース機のバフを交換する為、レース機のモーターのスイッチを切ったが、回転するベルトが止まるのを確認せずベルトを掴んでしまった為、回転するベルトとプーリーの間に左手薬指が挟まれ骨折した。	35	7	11209	1~9
97	2017	2	19~20	船内機関車において、一斗缶を2つに切断する作業中に切断用ディスクサンダーがはじかれて右太ももの膝に近い部分に当たり裂傷した。一斗缶を物理的に固定せず、足の間に挟んだ状態で行ったのが原因と思われる。	65	8	40102	—
98	2017	2	11~12	研磨室でセンターレス研削盤から品物を取り出す作業をしている時、回転している研削砥石と品物が接触した。品物を取り出そうとしていた右手が一緒に持っていかれ、右手中指と薬指を巻き込み負傷した。	22	7	11301	50~ 99
99	2017	2	9~10	自動車整備作業における、ワイヤーブラシで研磨中に、ワイヤーの背が飛び、左眼に刺さった。ゴーグルを着用せず、作業したもので、対策が不十分であった。	54	4	11701	10~ 29
100	2017	2	11~12	現場内資材置場にて鋼材 (L=65×65×6、?=8.0) をディスクグラインダーで切断作業中、反対側から切断しようと鋼材の下をくぐろうとした際に、ディスクグラインダーの電源を切っていなかったため、刃が左手の親指、人指し指、中指、	69	8	30199	100 ~

				薬指、小指に接触し指を負傷した。（小指は軽傷、親指、人差し指、中指は骨に達しない切創、薬指は骨まで切断された切創である。）					
--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。